



INDEX

・家畜防疫互助基金支援事業中央推進会議を開催	1
・第5期鶏卵生産者経営安定対策事業に関するブロック説明会を開催	2
・令和5年度鶏卵生産者経営安定事業に関する基礎情報	3
・令和5年度家きん経営災害緊急支援対策事業（非常用電源整備）の 要望調査について	4
・鶏卵需給見通しについて（令和4年度2回目）	5
・統計データ	6
・協会活動報告	7

家畜防疫互助基金支援事業中央推進会議を開催

4月26日、A P 東京八重洲において、家畜防疫互助基金支援事業の中央推進会議を5年振りに開催しました。

38の道府県養鶏協会等が参加され、うち3名が会場参加、35名がWeb参加となりました。冒頭、農林水産省動物衛生課の室賀補佐及び日鶏協の浅木専務の挨拶の後、議事に入りました。



議事の様子

最初に、室賀補佐から、今シーズンの高病原性鳥インフルエンザの発生状況や発生農場の疫学調査結果、農場の分割管理のあり方について説明いただきました。その後は、事務局から、令和2年度発生分の互助金交付農場に対する現地調査の協力依頼、第8期互助基金の状況説明などを行いました。

38名と多数の参加者を得た会議となり、会場からは農場の分割管理のあり方など活発な意見交換がなされ、順調に議事が進行しました。

■ [家畜防疫互助基金支援事業](https://www.jpaa.or.jp/prevention/index.html)

<https://www.jpaa.or.jp/prevention/index.html>

【お問い合わせ】

業務第1部 Tel : 03-3297-5515



第5期鶏卵生産者経営安定対策事業に関するブロック説明会を開催

4月13日（木）（北日本地区）、4月18日（火）（九州地区）、4月24日（月）（中部地区）、4月25日（火）（関東・甲信越地区）、4月28日（金）（沖縄地区）に、加入生産者様、都道府県担当者様、申請代行者様、代行納付者様及び都道府県養鶏協会様を対象として、第5期鶏卵生産者経営安定対策事業に関するブロック説明会を開催しました。

また、北海道地区及び中国四国地区については、それぞれ5月8日14時～（TKP札幌駅カンファレンスルーム）、5月11日13時～（サンピーチ岡山 3階大会議室 ピーチホール）にて開催予定ですので、ご参加をお待ちしております。

本事業は鶏卵生産者の皆様の相互扶助のもとに経営安定と鶏卵の需給及び価格の安定を図るものであり、できる限り多くの鶏卵生産者の皆様にご理解・加入して頂くことが事業の効果的な執行のために極めて重要であります。

なお、当日ご都合がつかない生産者様や新たに加入をご検討されている生産者様に対しては、当協会のホームページに説明動画を掲示しております。
内容は以下のとおりです。



九州地区における説明会の様子

1. 説明ビデオ（第5期鶏卵生産者経営安定対策事業の説明ビデオ）
2. 説明会資料（第5期鶏卵生産者経営安定対策事業の説明会資料）
 - (1) 鶏卵生産者経営安定対策について
 - (2) 第4期からの主な変更点について
 - (3) 申請書等の記入要領について
 - (4) 今後のスケジュールについて

■ [第5期鶏卵生産者経営安定対策事業（説明ビデオ・説明会資料）](https://www.jpa.or.jp/stability/pdf/keiran202303_01.pdf)

https://www.jpa.or.jp/stability/pdf/keiran202303_01.pdf

【お問い合わせ】

業務第2部 Tel : 03-3297-5515



令和5年度鶏卵生産者経営安定事業に関する基礎情報

令和5年度「鶏卵生産者経営安定対策事業」の積立金、協力金及び高卵価月における生産者積立金の単価並びに別途納付金の単価等については、以下のとおりとなりました。

1. 基準価格※1

補填基準価格	安定基準価格
209円/kg	190円/kg

2. 積立金等単価

① 積立金単価	② 協力金単価
1.45円/kg	0.10円/kg

3. 手数料等

③ 手数料	④ 抛出金
0.08円/kg	0.01円/kg

4. 別途納付金単価

別途納付金単価	4.63円/kg
---------	----------

5. 高卵価月追加積立金単価

月毎標準取引価格	積立金単価
362円以上 367円未満	1円/kg
367円以上 372円未満	2円/kg
372円以上 377円未満	3円/kg
377円以上 382円未満	4円/kg
382円以上	5円/kg

6. 令和4年度平均無事戻し額

令和4年度平均無事戻し額	約1.65円/kg※2
--------------	-------------

※1： 数値の算定概要は、食料・農業・農村政策審議会の資料(以下のURL参照)にあります。
https://www.maff.go.jp/j/chikusan/kikaku/tikusan_sogo/attach/pdf/kakaku-25.pdf

※2： 各契約者の契約状況により額の上下があります。

【お問い合わせ】

業務第2部 Tel : 03-3297-5515



令和5年度家きん経営災害緊急支援対策事業（非常用電源整備）の要望調査について

独立行政法人農畜産業振興機構（alic）が、災害等による停電に備え非常用電源を計画的に導入する取組を令和4年度に引き続き支援。

（令和5年度内（年度内支払の場合は令和6年2月末）での検収完了が必須条件）

○発電機の買取り:

本体価格の50%以内を補助※

○発電機のリース:

リース料の軽減(本体価格の50%相当以内)※

※いずれも50%を保証するものではありません。

令和5年5月募集開始のパンフレット及び事業参加要望調査書を協会HPにアップしました。

参加ご希望の方は、内容確認いただき、要望調査書を見積書と併せて必ず期限(令和5年5月22日)厳守でご提出下さい。なお、対象は、当協会会員様に限られます。

(今後の協会会員申込者を含む。)

**令和5年度分は、令和5年5月22日
までに「要望調査書」を提出願います!!**

【日鶏協回覧板】 発行者:一般社団法人日本養鶏協会

〒104-0033 東京都中央区新川2-6-16 馬事畜産会館 5階

TEL:(03)3297-5515 FAX:(03)3297-5519 発行日:令和5年4月28日【再掲】



鶏卵需給見通しについて（令和4年度2回目）

令和4年度第2回目の「鶏卵の需給見通し（令和5年3月）」を3月末日に発刊いたしましたので、ポイントをご紹介します。

詳しくは、冊子をご覧ください。

■ 鶏卵の需給見通し

https://www.jpa.or.jp/stability/pdf/keiran202303_01.pdf

1. 最近の動向

- 消費動向について、2022年の家計消費と加工用消費は、コロナ前の2019年の水準を上回ったが、業務用消費はコロナ前には戻っていない状況である。
- 供給動向について、雛の餌付け羽数は、2022年は前年比94.6%（10,462万羽）と減少した。これは飼料価格の値上げにより生産抑制が見られたことに依る。
- 成鶏用配合飼料の動向について、2022年の出荷量は前年比100.7%（5,708千トン）と微増になった。飼料価格が年間を通じて高値で推移したため、配合飼料価格安定制度による補填は、昨年度に引き続き第1四半期より発動となった。
- 輸出・輸入動向について、2022年の輸入量は、前年比107.3%と増加したが、これは飼料価格をはじめ生産コストの上昇が国産鶏卵の価格に反映されて値上げとなったことで、製菓・製パン業者における輸入粉卵へのシフトが生じたことが要因と考えられる。
- 輸出の動向について、2022年の輸出量は、輸出先の消費者に日本産鶏卵の魅力や価値が認知されてきており、前年比39%の増加となった。
- 価格の動向について、2022年は、標準取引価格は8月後半から上伸した後、高病原性鳥インフルエンザの発生による大量殺処分により、産地在庫が品薄となり、年末には平成23年以降の最高額295円となった。4月以降標準取引価格は基準価格を超えて推移したため、価格差補填事業並びに成鶏更新・空舎延長事業の発動はなかった。

2. 今後の需給見通しについて

- 今後の需給については、高病原性鳥インフルエンザの発生状況等によるため予断できないが、発生農場のヒナの再導入が進み徐々に生産は回復するが、令和4年度の発生前の水準に戻るには一定の期間が必要なことから、消費も減少傾向で推移する見込みである。
- 今後、高病原性鳥インフルエンザが沈静化し、生産が回復した時に、他の食材に変更されていたり、加工用マーケットが減少、消失する懸念があり、そうなると需給失調を来す恐れがある。

なお、鶏卵生産者経営安定対策事業に加入している生産者並びに関係者の方々には、「鶏卵生産等に関するアンケート調査結果について」を冊子に同封し、調査内容の結果をお送りしておりますので併せてご覧ください。

■ 鶏卵生産等に関するアンケート調査結果について

https://www.jpa.or.jp/stability/pdf/keiran202303_02.pdf



統計データ



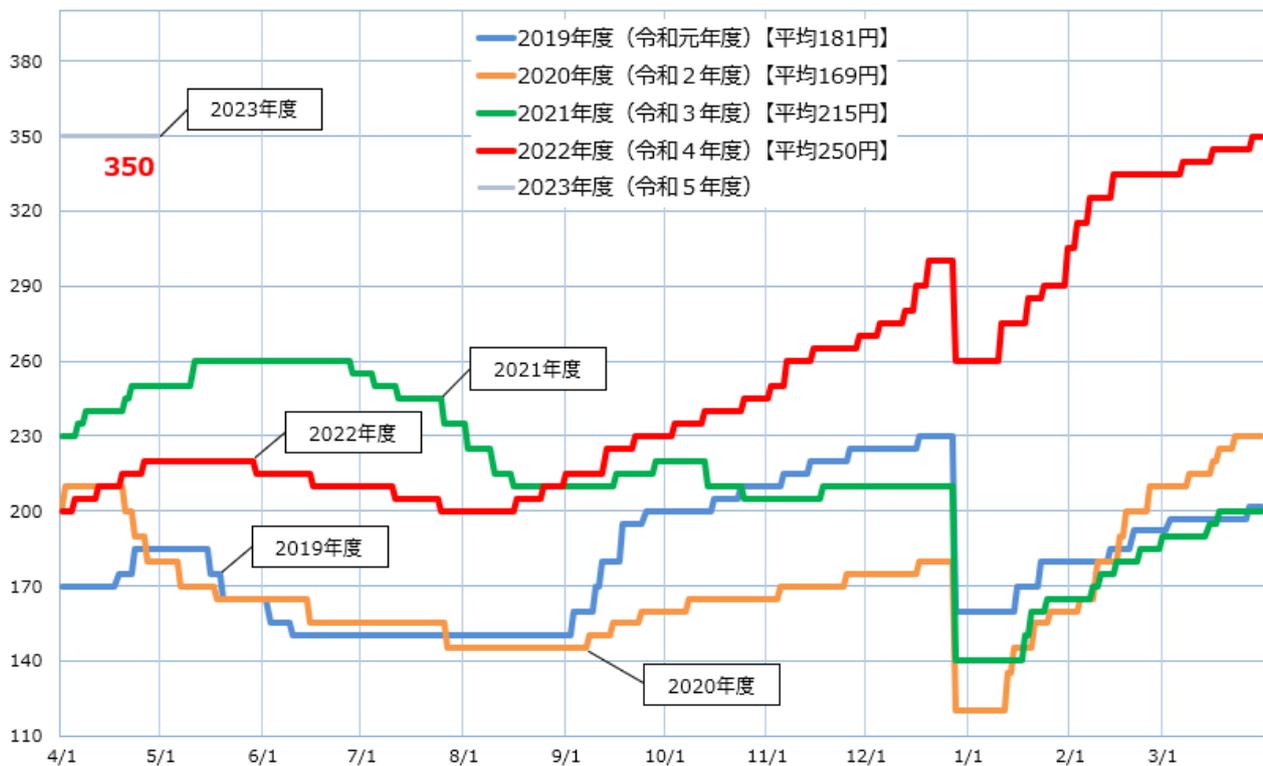
鶏卵相場動向 — 過去10年間の4月相場 東京全農Mサイズ 円/kg

	平均値	高値	安値
平成26年	223	248	214
平成27年	227	253	214
平成28年	215	233	209
平成29年	227	250	214
平成30年	179	203	164
令和元年	174	203	164
令和2年	202	230	174
令和3年	241	270	224
令和4年	211	240	194
令和5年	350	374	344
平均値	225	250	212

令和5年4月の鶏卵相場（東京全農Mサイズ）の高値374円は、過去10年の平均値250円を124円上回り、安値344円は、過去10年の平均値212円を132円上回っています。



鶏卵相場推移 2019年度～2023年度 東京全農Mサイズ 円/kg



鶏卵相場（Mサイズ）は、4月1ヵ月間を通して350円に高止まりしています。



鶏卵関係主要計数 —— 令和5年2月までの年間の主要計数推移

注：雛餌付羽数は全国推定値

	雛餌付羽数(出荷)		配合飼料出荷量		家計消費量		鶏卵相場	
	数量(千羽)	前年比	成 鶏 用		一人当たり		東京全農M	
			数量(千ト)	前年比	数量(g)	前年比	前年	本年
4年 3月	9,248	102.3%	515	101.8%	959	101.7%	220	195
4月	8,843	91.6%	485	102.2%	917	93.8%	241	211
5月	9,302	101.3%	480	103.3%	936	93.3%	258	219
6月	8,450	83.8%	489	102.5%	862	97.6%	259	213
7月	9,018	91.4%	438	94.5%	916	101.4%	245	205
8月	8,482	104.2%	467	103.3%	877	95.8%	215	204
9月	7,826	87.7%	461	99.0%	882	97.9%	213	223
10月	8,406	86.7%	470	101.4%	955	101.4%	213	239
11月	8,767	96.8%	481	99.4%	911	98.6%	207	262
12月	9,076	94.8%	511	96.9%	943	99.6%	210	284
5年 1月	8,475	99.3%	447	96.7%	898	96.8%	151	280
5年 2月	8,289	95.6%	424	93.7%	849	94.8%	175	327
1年間合計 平均(%)	104,182	94.6%	5,668	99.6%	10,905	97.7%	217(平均)	239(平均)

- ・雛餌付羽数は、8,289千羽（前年比95.6%）と前年比4.4%減となりました。
- ・配合飼料出荷量は、424千トン（前年比93.7%）と前年比6.3%増となりました。
- ・鶏卵の家計消費量は、849グラム（前年比94.8%）と前年比5.2%減となりました。
- ・鶏卵相場は、前年同月平均の152円高を示しました。

協会活動報告



鶏卵生産者経営安定対策事業 (<http://www.jpa.or.jp/stability/>)

①価格差補填事業の事業参加者との
契約数量（トン/月当たり）

令和 元年度	167,141
令和 2年度	163,160
令和 3年度	153,391
令和 4年度	149,558

②標準取引価格

令和4年4月 345.38円/kg

③補填基準価格 209円/kg

安定基準価格 190円/kg

日鶏協ニュース 発行者：一般社団法人 日本養鶏協会
〒104-0033 東京都中央区新川二丁目6番16号 馬事畜産会館内(5階)
Tel：03-3297-5515 Fax：03-3297-5519 発行日：2022年5月2日
編集・発行責任者：浅木 仁志(info@jpa.or.jp)